

公園再生通信 2号



おかげさまで「身近な公園再生事業」も3周年を迎えました。
この通信では各地域で行われている公園再生活動をご紹介します。
皆さんの活動のヒントとなれば幸いです。

第2回は、上温品第一公園

活動の中心は 上温品第一公園清掃の会
の皆さんです



上温品第一公園は自宅の庭のような居心地のよい公園です。人の「手」と「目」が行き届いているのがわかります。

—活動のきっかけは？

以前の公園は、雑草が膝まで伸び、雨の後には水たまりが何日も残るなど、子どもたちが思う存分遊べない状態でした。広場中央の水銀灯の光は大木の枝葉に遮られ、園内は暗がりが多く「地元でなんとかしなければ」との声が上がりました。

平成15年に、町内会として区に改善要望を行うとともに「清掃の会」を立ち上げ、除草を主体とした毎月1回の定期清掃を始めました。

ホームページで「身近な公園再生事業」を知り、平成18年から花壇整備と芝生広場づくりに取り組みました。

—どんな活動をしていますか？



公園の清掃、除草、樹木の剪定、広場の整地、砂場の砂の手入れなどの維持管理をはじめ、花壇づくり、腐葉土づくり、芝生の播種、屋外時計の設置、防球ネットの設置、側溝のフタ設置、排水不良箇所の改善など、利用者の意見を聞きながら、公園の環境整備に取り組んでいます。

また、学区体協や老人会の協力により、公園の広場で皆が楽しめるペタンクやグランドゴルフの道具なども公園で使えるようにしています。グランドゴルフのホールポストは、フラワースタンドを利用した手作りです。



—活動の資金はどうしていますか？

清掃活動の報奨金*を全額公園整備資材の購入に充てている他、地域の方々から草花の苗等の提供を受けています。

また公園再生事業計画書を毎年1件提出し、市から施設整備のための資材提供を受けています。

これまでに、花壇用の化粧ブロック、芝の種子、手動芝刈り機、肥料、材木、セメント、単管パイプ、防球ネットなどの提供を受けました。

東区の「花のあるまちなみづくり」事業からもプランターや花の苗、肥料等の資材援助を受けています。

* 街区公園清掃等報奨金制度：街区公園の清掃や除草などを定期的に行う町内会等の地域団体にに対し報奨金を交付する制度



—活動をはじめてよかったなと思うことや変化はありますか？

地域の多くの方々が公園を訪れ、憩いの場として活用していただいていることです。

散歩、軽スポーツ、砂場遊び、放課後のボール遊び等、雨天以外は毎日50人以上来園者があり、盆踊りなどの行事を含めると年間約15,000人の利用者があります。

平成18年度に念願のトイレが完成して以降、利用者と滞在時間が大幅に伸びており、地域のコミュニティづくりに大きな役割を果たしています。

しかし、たまに公共の備品を壊したり、ゴミを散らかしたり、ボールをプランターに向け蹴ったりする子どもたちもいます。このような場面



(裏面につづく)



を見た時は、理由を説明してしっかりと怒ります。

公園利用を通じて青少年の健全育成を行うことも重要な活動の一つと考えています。

—苦勞している点はありますか？

芝生をきれいに育成管理することに多少難しさを感じております。雑草を一つ一つ丁寧に抜くのと定期的に芝刈りするのに人手がかかります。

しかし、子供たちが裸足で気持ち良く駆け回る姿を見ると疲れも忘れます。

—活動を続けるために皆さんが心がけていることはありますか？



平成18年度からは子供会にも呼びかけ、一斉清掃が年間行事スケジュールの中に組み込まれました。また、平成19年度からは、近隣の2町内会も参加し、交代で活動をしています。

平成18年度には、東区の「花のあるまちなみづくり」の活動団体に選定されたことがきっかけで、花づくりの部会も立ち上げ、有志が活動しています。

このように、呼びかけを行い、活動趣旨を理解した地域の人たちが積極的に参加することで、活動の輪を広げています。

今後も、地域に愛される公園づくりに向け、限られた空間の中で、皆で知恵を出し合い様々な整備を行う計画です。

—今後の抱負や地域でやってみたいことはありますか？

花壇の拡充や、果樹・花木の植樹、巣箱の設置、雨水利用の散水設備の設置、広場全面を芝生にすることなどを計画しています。

今年初めて桜ライトアップを行います。桜の木は、球状に大きく枝を伸ばし地区の自慢の一つです。



また、地元で引いた電源を利用して週末にナイターでペタンク等を楽しむ企画も考えています。

これらの計画を一つ一つ実現し、「いつ来ても気持

よく過ごせる公園」「利用者のニーズにあった公園」「子どもたちが安全に安心して遊べる公園」「地域のコミュニティ活動の拠点になる公園」を目指して、皆でさらに努力していきたいと思います。

地域から ~中野第二公園~

「園芸療法」という言葉を聞いたことがありますか？一般に、園芸作業を通じて心身の機能を改善することとして知られています。皆さんも園芸作業（植物と触れ合うこと）で、心も体も元気になったような経験はありませんか？

施設での園芸療法作業を通して、地域の人たちと共に公園づくりを進めている皆さんからお便りが届きましたのでご紹介します。

ありがとうございました。

中野第二公園(安芸区)では、色とりどりの花が咲くプランターが来園者を迎えます。このプランターは隣接する施設の入居者さんが園芸療法を学んでいる生徒さんと一緒に植付け作業を行ったものです。



中野第二公園では町内会の皆さんの定期清掃に加え、老人クラブの皆さんが週に2回のグランドゴルフの練習日に清掃やプランターへの水やりをしています。施設の職員・入居者の皆さんも公園を見守ります。

30基のプランターと地域のたくさんの人の手で、公園が安全・安心な場所となっています。

「地域から」のコーナーへの皆さんからの情報をお待ちしています。

公園づくりの手引書「身近な公園再生の進め方」やこれまでの公園再生の事例をホームページでご覧になれます。

広島市ホームページ (<http://www.city.hiroshima.jp/>)

→くらしのインディックス→まちづくり

→公園・緑化・緑地保全→身近な公園再生事業

 広島市緑化推進部公園整備課

TEL 082(504)2393 FAX 082(504)2391

E-mail park@city.hiroshima.jp 